

月刊むし (176) : 2,25.

1986

バンカ島及びピリトン島のナガサキアゲハの分類上の位置と変異について

TSUIISO (497) : 309-317.

Great Nicobar のナガサキアゲハ

ちょうちょう 9(2) : 19-28.

グレート・ニコバル島産のナガサキアゲハの1新亜種について

ちょうちょう 9(6) : 23-26.

1987

タンベラン島産ナガサキアゲハ

月刊むし (198) : 2,6.

スマトラのナガサキアゲハの分類上の位置と変異について

TSUIISO (544) : 453-464.

カラオ島産ナガサキアゲハの1新亜種について

IWASE (4) : 1-4.

1988

カラスザンショウに吸蜜に訪れた蝶について

きべりはむし 16(2) : 50.

ムナ島産セレスアゲハの1新亜種

月刊むし (206) : 16-17.

1989

ボルネオのナガサキアゲハの分類上の位置と変異について

TSUIISO (592) : 141-150.

A New Subspecies of *Papilio memnon* L. from Bunguran Island (Natura Besar), Indonesia.

FUTAO (1) : 2-3,7.

A New Subspecies of *Papilio deiphobus* L. from Obi Island, Indonesia.

FUTAO (3) : 1-2,4-5,pl.1.

1991

Notes on *Papilio memnon* L. from Kangean Islands, Indonesia.

FUTAO (8) : 1-7,pl.1.

1993

A New Subspecies of *Papilio memnon* L. from Babi Island, Indonesia.

FUTAO (12) : 1-5,pl.1.

"追記"

"TSU-I-SO" 第961号(1999年7月22日号)のp.269-270に主筆者西山保典氏により蜂谷幸雄氏の追悼文"虫と散れるか"が掲載されておりました。大変考えさせられる追悼文として拝読いたしました。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

兵庫県職員昆虫研究会のアサギマダラ マーキング放蝶記録 平尾 栄治

1999年10月10日、午前10時45分から12時30分頃にかけて、神戸市北区山田町坂本の帝釈山東尾根(標高490m)にて兵庫県職員昆虫研究会と兵庫県立人と自然の博物館の合同チーム5名により、アサギマダラの移動に関する調査を行うためマーキング放蝶を実施した。捕獲マーキング個体数は♂♀あわせて43個体である。

マーキングの方法は、翅裏面に油性マーカーペンで採集(放蝶)場所、放蝶月日、個体番号を記入した。マーキング内容は次のとおりである。

昆虫研究会; KOBE, 六甲山, 10/10, No.1-25

人と自然の博物館; KOBE, 人博, 中, 10/10, No.1-18

なお、マーキング記録と再捕獲内容については、「アサギマダラを調べる会」事務局または大阪市立自然史博物館昆虫研究室に報告する。もし、マーキング個体を採集された方があれば御一報いただければ幸いです。

(HIRAO EIJI 神戸市北区松が枝町3-4-4)

上高地で放蝶された アサギマダラを帝釈山で捕獲 平尾 栄治

1999年10月10日に実施したアサギマダラマーキング調査の下見のため、前日の10月9日に帝釈山を訪れた際、同地でアサギマダラのマーキング個体を再捕獲した。翌日、再放蝶の予定で帝釈山に持参したが、同個体がかかなり弱っていたこともあり、写真を撮り標本として残すことにした。

マーキングの内容は「NAGANO, 上高地, No.26」であり、この個体は直線距離にして約600kmをはるばる移動してきたことになる。

(HIRAO EIJI 神戸市北区松が枝町3-4-4)